



平成29年5月10日

各 位

会 社 名 日清オイリオグループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 今村 隆郎
(コード番号 2602 東証第1部)
問合せ先 財務部長 渡辺 信行
(TEL: 03-3206-5670)

当社子会社（攝津製油株式会社）に関する決算開示について

平成29年5月1日付で当社の完全子会社となりました攝津製油株式会社の平成29年3月期決算短信を参考までに、別紙の通りお知らせいたします。

以 上

平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年5月10日

会社名 攝津製油株式会社
 URL <http://www.settsu-seiyu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大前 敏和
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長 (氏名) 山本 信秀 TEL (072) 280-2650
 配当支払開始予定日 未定

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期の業績 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期	9,971	2.2	281	△16.1	297	△14.9	208	△13.6
28年3月期	9,755	5.4	335	27.3	349	26.3	241	44.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
29年3月期	17.13	—	4.9	4.3	2.8
28年3月期	19.82	—	5.9	5.3	3.4

(参考) 持分法投資損益 29年3月期 一百万円 28年3月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期	7,165	4,393	61.3	360.11
28年3月期	6,711	4,220	62.3	345.95

(参考) 自己資本 29年3月期 4,393百万円 28年3月期 4,220百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年3月期	72	4	△62	47
28年3月期	328	△262	△65	33

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
28年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00	48	20.2	1.2
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00	60	29.2	1.4

(注) 平成29年3月期期末配当の内訳 普通配当 4円00銭 特別配当 1円00銭

3. 平成30年3月期の業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

平成29年5月1日付けで日清オイリオグループ株式会社を株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換を実施しており、業績予想の記載は省略しております。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

29年3月期	12,222,080 株	28年3月期	12,222,080 株
29年3月期	22,086 株	28年3月期	21,040 株
29年3月期	12,200,928 株	28年3月期	12,201,538 株

※ 決算短信は監査の対象外です

※ その他特記事項

当社は、平成29年2月7日開催の取締役会において、日清オイリオグループ株式会社を株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換を行うことを決議し、同日付で株式交換契約を締結しております。また、平成29年3月24日の臨時株主総会において本株式交換の承認を受けたことにより、平成29年4月26日をもって上場廃止となりました。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(持分法投資損益等)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期のわが国経済は、人手不足を背景とした雇用環境に改善は見られたものの、個人消費は足踏み状態が続いており、依然生活防衛意識の高まりがみられます。また、天候不順の影響や設備投資の伸び悩みもあり、国内景気は力強さを欠く状況が続きました。また、アメリカ新政権の政策運営やイギリスのEU離脱問題などによる世界経済の不確実性の高まり、地政学リスクの懸念材料など、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

こうした経済環境のなかで当社は、「安定的に、売上高100億円以上、営業利益4億円以上を確保できる企業体を確固たるものにする」という中期経営目標を達成すべく、油脂事業および化成品事業の事業展開力の強化と、受託事業を含めた事業相互間でバランス良く相乗効果を発揮できる体制の強化を目指した取組みを展開しております。

当期の業績は、売上高では、油脂事業が減少したものの、化成品事業が増加し、99億71百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

しかし、利益面では、引き続き原価低減に努めたものの、税制改正にかかわる経費や化成品事業における新製品の販促費など販管費が増加したことなどから、営業利益は2億81百万円（前年同期比16.1%減）となり、経常利益は2億97百万円（前年同期比14.9%減）となりました。また、当期純利益は、株式交換関連費用が発生しましたが、税額控除等の法人税軽減効果もあり2億8百万円（前年同期比13.6%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(油脂事業) 当社の油脂事業は、精製受託、業務用斗缶販売、小瓶充填・小ロット精製から構成されています。

精製受託は、当期より原料油の受入能力を増強し数量の確保に努めましたが、市況状況の影響を受け、売上高は前年同期を下回りました。

業務用斗缶販売は、市場価格が徐々に軟調に推移するなか、販売数量の確保に注力した結果、売上高は前年同期を上回りました。

小瓶充填・小ロット精製は、新規OEMの受託は増加しましたが、既存OEMの受託が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、油脂事業の売上高は、41億59百万円で、前年同期比5.5%減となりました。セグメント利益は、2億59百万円で、前年同期比10.9%減となりました。

(化成品事業) 当社の化成品事業は、自社業務品、OEM及び業務提携先OEMから構成されています。

自社業務品は、外食産業や食品工場における衛生管理の強化に貢献すべく、中性洗剤、厨房機器用洗浄剤や除菌洗浄剤の拡販を行ってまいりました。特に、除菌剤につきましては、詰替え手間を軽減した製品など、さまざまなニーズに対応した製品を発売するなどし、引き続き順調に販売先が拡大するとともに、販売量も増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

OEMは、会員販売向け製品の一部が減少したものの、前期より新しく取引がスタートしたOEM先の販売量が増加したことなどにより、売上高は前年同期を上回りました。

業務提携先OEMは、業務用関連商品、家庭用関連商品及びケミカル関連商品ともに順調に推移し、新製品の受託もあり、前年同期を上回りました。

以上の結果、化成品事業の売上高は55億56百万円で、前年同期比9.2%増となりました。セグメント利益は7億48百万円で、前年同期比7.7%増となりました。

(その他) その他については、**物流業務における流通加工受託業務**、その他共に前年同期を下回りました。

以上の結果、その他の売上高は、2億54百万円で、前年同期比4.0%減となりました。セグメント利益は、64百万円で、前年同期比14.0%減となりました。

セグメント別売上状況

(単位:百万円未満切捨て)

年度 セグメント	前 期 (27. 4~28. 3)		当 期 (28. 4~29. 3)		増減金額 (△印減)	対前期 増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
油脂事業	百万円 4,399	% 45.1	百万円 4,159	% 41.7	百万円 △240	% △5.5
化成品事業	5,089	52.2	5,556	55.7	467	9.2
そ の 他	265	2.7	254	2.6	△10	△4.0
合 計	9,755	100.0	9,971	100.0	215	2.2

(2) 当期の財政状態の概況

当期末の総資産は、前期末に比べ3億94百万円増加の71億65百万円となりました。短期貸付金は減少したものの、売掛金、たな卸資産などが増加し流動資産合計は2億75百万円の増加となり、有形固定資産、投資有価証券などの投資その他の資産が増加したことなどにより固定資産合計は1億18百万円増加しました。また、買掛金の増加などにより負債合計は2億21百万円増加し27億71百万円となりました。一方、純資産につきましては、利益剰余金の増加などにより前期末に比べ1億72百万円増加し、43億93百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期における営業活動によるキャッシュ・フローは、72百万円の収入（前年同期は3億28百万円の収入）となりました。主な資金増加の要因は、仕入債務の増加額2億21百万円、一方主な資金減少の要因は、税引前当期純利益2億79百万円、減価償却費1億37百万円、売上債権の増加3億69百万円、法人税等の支払額1億30百万円などです。また、投資活動によるキャッシュ・フローは、4百万円の収入（前年同期2億62百万円の支出）となりました。資金増加の要因は貸付金の減少による収入1億82百万円、一方資金減少の要因は、有形固定資産の取得による支出1億76百万円などです。財務活動によるキャッシュ・フローは、62百万円の支出（前年同期は65百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出によるものであります。この結果、現金及び現金同等物の期末残高は47百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円未満切捨て)

	前 期	当 期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	328	72	△255
投資活動によるキャッシュ・フロー	△262	4	267
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65	△62	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	0	14	14
現金及び現金同等物の期末残高	33	47	14

(4) 今後の見通し

当社は、平成29年2月7日開催の取締役会において、日清オイリオグループ株式会社を株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換を行うことを決議し、同日付で株式交換契約を締結しております。また、平成29年3月24日の臨時株主総会において本株式交換の承認を受けたことにより、平成29年4月26日をもって上場廃止となりました。

これを踏まえ、次期の見通しの記載を省略させていただきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の業務は現在日本国内に限定されており、海外での活動がないことから、今後のIFRS（国際会計基準）の採用動向には注視しますが、当面は日本基準を採用することとしております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当事業年度 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,616	46,965
受取手形	92,942	121,739
売掛金	2,488,936	2,829,307
有価証券	816	816
商品及び製品	215,522	273,961
原材料及び貯蔵品	119,680	136,481
前払費用	6,514	8,369
繰延税金資産	46,806	41,910
短期貸付金	509,247	326,639
その他	6,122	8,162
流動資産合計	3,519,207	3,794,354
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	673,197	625,364
構築物（純額）	73,379	67,991
機械及び装置（純額）	223,039	342,821
工具、器具及び備品（純額）	56,103	55,408
土地	1,919,093	1,919,093
リース資産（純額）	27,337	28,217
建設仮勘定	8,559	25,295
有形固定資産合計	2,980,711	3,064,192
無形固定資産		
ソフトウェア	5,848	5,241
ソフトウェア仮勘定	—	9,311
その他	4,459	4,136
無形固定資産合計	10,308	18,689
投資その他の資産		
投資有価証券	155,694	173,891
繰延税金資産	101,461	105,808
その他	4,491	9,024
貸倒引当金	△657	△657
投資その他の資産合計	260,990	288,066
固定資産合計	3,252,010	3,370,949
資産合計	6,771,217	7,165,303

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当事業年度 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	54,695	79,505
買掛金	1,223,889	1,425,137
リース債務	11,993	10,470
未払金	583,022	625,883
未払法人税等	83,658	35,395
預り金	2,520	4,834
前受収益	600	—
賞与引当金	58,744	61,125
役員賞与引当金	6,541	6,031
その他	63,786	32,821
流動負債合計	2,089,452	2,281,205
固定負債		
リース債務	17,593	20,212
退職給付引当金	384,834	417,255
その他	58,406	53,266
固定負債合計	460,833	490,735
負債合計	2,550,285	2,771,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,299,104	1,299,104
資本剰余金		
資本準備金	1,165,353	1,165,353
資本剰余金合計	1,165,353	1,165,353
利益剰余金		
利益準備金	188,221	188,221
その他利益剰余金		
別途積立金	100,000	100,000
繰越利益剰余金	1,409,312	1,569,465
利益剰余金合計	1,697,533	1,857,687
自己株式	△7,547	△8,040
株主資本合計	4,154,443	4,314,104
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	66,487	79,258
評価・換算差額等合計	66,487	79,258
純資産合計	4,220,931	4,393,362
負債純資産合計	6,771,217	7,165,303

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月 31日)	当事業年度 (自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月 31日)
売上高		
売上高	9,755,199	9,971,149
売上原価		
製品期首たな卸高	250,108	215,522
当期商品仕入高	18,081	20,388
当期製品製造原価	8,388,431	8,645,209
合計	8,656,621	8,881,120
製品期末たな卸高	215,522	273,961
差引	8,441,098	8,607,158
他勘定振替高	2,981	3,336
他勘定受入高	4,001	3,293
売上原価合計	8,442,118	8,607,115
売上総利益	1,313,081	1,364,034
販売費及び一般管理費	977,319	1,082,190
営業利益	335,762	281,843
営業外収益		
受取利息	607	210
有価証券利息	0	0
受取配当金	4,772	4,691
仕入割引	4,138	4,846
受取地代家賃	2,677	2,894
その他	1,599	3,140
営業外収益合計	13,796	15,782
営業外費用		
売上割引	201	254
その他	10	12
営業外費用合計	211	266
経常利益	349,346	297,360
特別利益		
投資有価証券売却益	6,110	—
特別利益合計	6,110	—
特別損失		
固定資産除却損	158	1,810
投資有価証券評価損	2,693	—
株式交換関連費用	—	16,016
特別損失合計	2,852	17,827
税引前当期純利益	352,605	279,533
法人税、住民税及び事業税	116,906	75,452
法人税等調整額	△6,083	△4,876
法人税等合計	110,823	70,575
当期純利益	241,782	208,957

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,299,104	1,165,353	1,165,353	188,221	100,000	1,216,340	1,504,561
当期変動額							
剰余金の配当						△48,809	△48,809
当期純利益						241,782	241,782
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	192,972	192,972
当期末残高	1,299,104	1,165,353	1,165,353	188,221	100,000	1,409,312	1,697,533

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△7,042	3,961,976	77,645	77,645	4,039,622
当期変動額					
剰余金の配当		△48,809			△48,809
当期純利益		241,782			241,782
自己株式の取得	△505	△505			△505
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△11,158	△11,158	△11,158
当期変動額合計	△505	192,466	△11,158	△11,158	181,308
当期末残高	△7,547	4,154,443	66,487	66,487	4,220,931

当事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	別途積立金	
当期首残高	1,299,104	1,165,353	1,165,353	188,221	100,000	1,409,312	1,697,533
当期変動額							
剰余金の配当						△48,804	△48,804
当期純利益						208,957	208,957
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	160,153	160,153
当期末残高	1,244,104	1,165,353	1,165,353	188,221	100,000	1,569,465	1,857,687

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△7,547	4,154,443	66,487	66,487	4,220,931
当期変動額					
剰余金の配当		△48,804			△48,804
当期純利益		208,957			208,957
自己株式の取得	△492	△492			△492
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			12,770	12,770	12,770
当期変動額合計	△492	159,660	12,770	12,770	172,430
当期末残高	△8,040	4,314,104	79,258	79,258	4,393,362

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月 31日)	当事業年度 (自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月 31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	352,605	279,533
減価償却費	123,030	137,502
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,237	32,421
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△36,930	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,957	2,381
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,124	△510
受取利息及び受取配当金	△5,380	△4,902
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6,110	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,693	—
固定資産除却損	158	1,810
売上債権の増減額 (△は増加)	△142,019	△369,168
たな卸資産の増減額 (△は増加)	20,071	△75,239
その他の資産の増減額 (△は増加)	5,526	△8,427
仕入債務の増減額 (△は減少)	47,492	221,072
その他の負債の増減額 (△は減少)	13,750	△17,625
小計	387,207	198,848
利息及び配当金の受取額	5,380	4,902
法人税等の支払額	△64,302	△130,980
営業活動によるキャッシュ・フロー	328,285	72,770
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△123,249	△176,555
投資有価証券の売却による収入	21,501	—
無形固定資産の取得による支出	△1,960	△1,480
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△159,164	182,608
投資活動によるキャッシュ・フロー	△262,873	4,573
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△15,682	△13,716
配当金の支払額	△48,958	△48,785
自己株式の純増減額 (△は増加)	△505	△492
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,145	△62,994
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	266	14,348
現金及び現金同等物の期首残高	33,167	33,433
現金及び現金同等物の期末残高	33,433	47,782

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法投資損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象としているものであります。

当社は、本社に事業部を置き、取り扱う製品について戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、当社は、事業部を基礎としたセグメントから構成されており、「油脂事業」及び「化成品事業」の2つを報告セグメントとしております。

なお、各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類は次のとおりであります。

セグメント	主たる事業の内容
油脂事業	コーン油・大豆油・米油・ぶどう油・ひまわり油・なたね油等、各種植物油の精製・充填・販売
化成品事業	家庭用・業務用・工業用各種洗剤及び化粧品・医薬部外品、除菌洗浄剤等、各種界面活性剤の製造販売

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、売上高から売上原価及び販売費を差引いた数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	油脂事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,399,753	5,089,735	9,489,489	265,710	9,755,199
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,399,743	5,089,735	9,489,489	265,710	9,755,199
セグメント利益	291,204	695,483	986,687	75,443	1,062,130
セグメント資産	777,267	4,896,047	5,673,314	122,936	5,796,251
その他の項目					
減価償却費	2,631	83,025	85,656	6,336	91,993
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	—	139,130	139,130	—	139,130

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれないセグメントであり、物流業務を含んでおります。

当事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	油脂事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,159,326	5,556,857	9,716,183	254,965	9,971,149
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,159,326	5,556,857	9,716,183	254,965	9,971,149
セグメント利益	259,569	748,798	1,008,367	64,848	1,073,215
セグメント資産	766,321	5,443,104	6,209,426	119,663	6,329,090
その他の項目					
減価償却費	2,346	95,379	97,725	6,057	103,782
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,154	198,502	200,656	4,472	205,128

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれないセグメントであり、物流業務を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	9,489,489	9,716,183
「その他」の区分の売上高	265,710	254,965
セグメント間取引消去	—	—
財務諸表の売上高	9,755,199	9,971,149

(単位：千円)

利益	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	986,687	1,008,367
「その他」の区分の利益	75,443	64,848
全社費用	△726,368	△791,371
財務諸表の営業利益	335,762	281,843

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	5,673,314	6,209,426
「その他」の区分の資産	122,936	119,663
全社資産	974,966	836,213
財務諸表の資産合計	6,771,217	7,165,303

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社事務所の建物等であります。

(単位：千円)

その他の事項	報告セグメント計		その他		調整額		財務諸表計上額	
	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度
減価償却費	85,656	97,725	6,336	6,057	31,037	33,720	123,030	137,502
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	139,130	200,656	—	4,472	350	26,047	139,480	231,175

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に報告セグメントに配分前の建設仮勘定及びソフトウェア仮勘定であります。

【関連情報】

前事業年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報
セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。
2. 地域ごとの情報
 - (1) 売上高
本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。
 - (2) 有形固定資産
本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。
3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
花王株式会社	3,274,523	化成品事業
日清オイリオグループ株式会社	2,484,961	油脂事業及び化成品事業

当事業年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報
セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。
2. 地域ごとの情報
 - (1) 売上高
本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。
 - (2) 有形固定資産
本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。
3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
花王株式会社	3,373,203	化成品事業
日清オイリオグループ株式会社	2,340,307	油脂事業及び化成品事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれん償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
1株当たり純資産額	345.95円	360.11円
1株当たり当期純利益金額	19.82円	17.13円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎

	前事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
当期純利益(千円)	241,782	208,957
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	241,782	208,957
普通株式の期中平均株式数(千株)	12,201	12,200

(重要な後発事象)

該当事項はありません。